

2月の新着本

1月9日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

わたし定時で帰ります <small>【読者希望】</small> ライジング	朱野 帰子	定時帰りをモットーとする結衣の前に現れた、何故か残業したがる若手社員。その理由を知った結衣は、給料アップを目指し、人事評価制度の改革を提案することに。しかし、様々な思惑に翻弄され・・・新時代の働き方を問う、大人気シリーズ第三弾！
ショローの女 <small>【読者希望】</small>	伊藤 比呂美	新しい生活が始まった。熊本―東京を行き来するあたしを待つのは、愛犬(三歳)、植物(八十鉢)、学生たち(数百人)。ハマる事象、加齢の実状、一人の寂しさ、そして自由。老いの体感をリアルに刻む。
神よ憐れみたまえ	小池 真理子	昭和38年、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生し「魔の土曜日」と言われた夜、12歳の黒沢百々子は何者かに両親を惨殺された。母ゆずりの美貌で音楽家をめざすが、事件が重く立ちはだかる。10年の歳月をかけて紡がれた別離と再生。
生物はなぜ死ぬのか <small>【新書】</small>	小林 武彦	私たちにとって「死」は、絶対的な恐るべきものとして存在しています。しかし、生物学の視点から見ると、すべての生き物、つまり私たち人間が死ぬことにも「重要な意味」があるのです。その意味とは何なのか。死生観が一変する〈現代人のための生物学入門〉
最終飛行	佐藤 賢一	『星の王子さま』の作者サン=テグジュペリは作家であると同時に、飛行機乗りでもあった。破天荒な愛に、かけがいのない友情。困難な時代に理想を求めて葛藤する姿。第二次世界大戦期を通して、サン=テグジュペリを精彩豊かに描く長編小説。
めんつゆひとり飯 vol.2 <small>【読者希望】 【まんが】</small>	瀬戸口 みづき	出来るだけ手間を省きたい、でも美味しい料理を食べたい、そんなズボラOL・面堂露の料理のお供は万能調味料「めんつゆ」。簡単なものにとっても美味しいアイディア料理を召し上がれ！！
今を生きるあなたへ	瀬戸内 寂聴	今を生きるすべての人へ―― 瀬戸内寂聴さんがこの世を去る前に語ったメッセージをお届けする最後の一冊
硝子の塔の殺人	知念 実希人	雪深き森で、燦然と輝く、硝子の塔。ミステリを愛する大富豪の呼びかけで、一癖も二癖もあるゲストたちが招かれた。この館で次々と惨劇が起こる。謎を追うのは名探偵・碧月夜と医師・一条遊馬。知念実希人の新たな代表作誕生！
怖いへんないきものの絵 <small>【今月のスタッフおすすめ本】</small>	中野 京子	2大ベストセラー『怖い絵』と『へんないきもの』が、まさかの合体。アルチンボルドの魚、ルーベンスのオオカミ、クラナッハのミツバチ、ペルッツィのカニ・・・不気味で可笑しい名画の謎に迫る！
カード師	中村 文則	占いを信じていない占い師であり、違法カジノのディーラーでもある僕に舞い込んだ、ある組織からの指令。それは冷酷な資産家の顧問占い師となることだった。新作を待望される著者が描き切った、理不尽を超えるための強き光。
護られなかった者たちへ	中山 七里	仙台市の福祉保険事務所課長・三雲忠勝が、身体を拘束された餓死死体で発見された。怨恨が理由とは考えにくく、物盗りによる犯行の可能性も低く、捜査は暗礁に乗り上げる。社会福祉と人々の正義が交差したときに、あなたの脳裏に浮かぶ人物は誰か。
夜が明ける <small>【読者希望本】</small>	西 加奈子	本書は著者が初めて、日本の若者の生きていく上でのしんどさに真正面から取り組んだ作品。思春期から33歳になるまでの二人の友情と成長を描きながら人間の哀しさや弱さ、そして生きていくことの奇跡を描く。心を揺さぶる救済と再生の感動作。
還らざる聖域	樋口 明雄	202X年、内戦に揺れる北朝鮮の最強部隊・特殊作戦軍が世界遺産・屋久島に突如上陸した!全島を武力制圧し、島民を人質に日本を脅迫する中、そのとき政府は、警察は、そして島民は…空前のアクション超大作!

本心	平野 啓一郎	「自由死」が合法化された近未来の日本。最新技術を使い、生前そっくりの母を再生させた息子は、「自由死」を望んだ母の、〈本心〉を探ろうとする。愛と幸福の真実を問いかける平野文学の到達点。
100万回死んだねこ	福井県立図書館	図書館利用者さんの「覚え違いタイトル」の実例を集め、HPで公開しているのが、福井県立図書館の「覚え違いタイトル集」。そのなかから秀逸な「覚え違いタイトル」を厳選し、「正しい書誌情報」と「司書さんによるレファレンス」を掲載。
一度だけ [文庫本]	益田 ミリ	ある日、叔母がブラジル旅行に妹を誘う。なぜ自分ではなく、妹なのか。悶々とする弥生は、二人が旅行中の一週間、新しいことをすると決める。ぶつかってきた女性を尾行したり、バーでひとりウイスキーを嗜んだり。まだ見ぬ自分に出会うための物語。
向田邦子ベスト・エッセイ [文庫本]	向田 邦子	お人好しと意地悪、頑固と機転…人間の面白さを描いた名エッセイ! 家族、食、旅、仕事、こだわりの品など、テーマ別に末妹が50篇を精選
ばにらさま	山本 文緒	冴えない僕の初めての恋人は、バニラアイスみたいに白くて冷たい 日常の風景が一転! 思わず二度読み! 痛くて、切なくて、引きずり込まれる。6つの物語が照らしだす光と闇

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお次回新着本は、4月9日から貸出いたします。

